



かけはし

令和元年9月 1日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

よく考える子が育つように

校長 橋 早智子

夏休みが終わりました。学校は活気ある賑やかな空気に包まれています。25日間の夏休み、日々充実していたことが、子どもたちの表情に表れていて、うれしく思います。

さて、7月に実施しました「学校評価保護者アンケート」では、お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。本校の教育活動を検証し、更に良いものにするために、活用させていただいております。今月は、保護者の皆さんの評価が低かった『学習や活動を通して学校や地域をよりよくしよう』という思いをもつようになっている【考える子】の項目に関する学校での取組をご紹介します。



智恵文小中学校ではコミュニティスクールが実施され、3年目に入りました。学校運営協議会、学校支援体制が整備され、地域学習が視察型から体験思考型に変わってきました。教室の授業も教科書と合わせて教師が作成した地域教材や外部講師を活用して、探究心の育ちを大切にしています。

智恵文小学校は複式授業を行っているので、授業時間の半分(毎時20分程度)は学習課題に自力で取り組ませることで、探究心の伸長を保障しています。

複式授業の基本形

下の学年	教師の動き	上の学年
課題把握・見通し	←	習熟 (探究)
自己解決 (探究)	→	課題把握・見通し
交流解決	←	自己解決 (探究)
習熟 (探究)	→	交流解決

○教室を前後に分け、黒板は前後に1枚ずつ設置

○教師は2つの学年をほぼ10分ごとに移動して指導

○児童には教師に頼らない学びの時間がある(網掛けの部分)

今年度智恵文小学校は名寄市へき地複式教育連盟の事務局を担当し、10月8日に1・2年生と5・6年生の学級で提案授業を行い、市内小中学校の教員の研修の場を提供いたします。授業計画の中には地域活用の時間が明示され、智恵文小中学校一貫教育目標『自ら学び、未来をたくましく生き抜く智恵文の子』の実現に向けて、教科指導上の助言がいただけることとなっております。

学びの質の向上に向けて、学校一丸となって取り組んでいるところです。